

古文書の読み方 2

1 講座の内容

この講座は、沖縄に残る古文書から琉球の歴史や社会を考えていくことを目的とする。10月6日の1回目続く2回目。琉球国時代に国内で作成された古文書を取り上げ、その歴史的な展開と特徴について解説。実際に古文書を数点読み、文章の読み方や文意の取り方を学ぶ。古文書はいわゆる「くずし字」で書かれており読解は難しいとされているが、初めて学ぶ方でも親しみが持てるよう、この講座では比較的読みやすい古文書を教材とする。昨年度の講座とは異なる史料を使用する。

2 講座の概要

- (1) 講師 麻生 伸一 氏 (沖縄県立芸術大学准教授)
- (2) 日時 令和3年11月10日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭、中頭、島尻、宮古、八重山)
※特別サテライト会場：多良間村、玉城村、小浜村
- (4) 受講者数 49人(PC視聴者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・前回の古文書(古文書の読み方1)との継続性があったという声が寄せられた。
- ・受講者が繰り返し学べるように、読み下しとその解説資料や参考となるサイトの紹介等があったよかった。
- ・音声トラブルなどの大きな問題がなく、各サテライト会場へスムーズに配信することが出来た。

4 課題

- ・史料のレベルが少し上がっていたからか、受講の日時が開いているためか、連絡なしの欠席が目立った。